

葉山の別荘時代

目次

はじめに

「別荘にはどんな歴史があるの？」

「近代的な別荘のはじまりは？」

「葉山にはいつごろ別荘ができたの？」

「たくさん別荘ができたのはいつから？」

「別荘の場所は景色かいいの？」

「別荘街はどんな景観だったの？」

「どんな人たちの別荘があったの？」

「別荘と地元との関係は？」

「戦後、別荘はどうなったの？」

「これから別荘はどうなるの？」

「葉山らしい景観を残すためには？」

「葉山らしい景観を残すためには？」

昭和初期には500棟近くあった別荘も、今では1/10に激減。それとともに「葉山らしい」とされた景観も失われつつあります。これに危機感を抱いた町民と行政は近年「高度規制」と「まちづくり条例」を定めました。それでも、葉山に住みたいというニーズに後押しされた宅地分譲は続いています。

全国的に少子高齢化が進行する中で、若い新住民が増えることは望ましいことではありますが、問題となるのは一旦更地にするという造成のあり方です。そこで以前あった樹木を残したり、小径のイメージを踏襲したり、石垣の材料を再利用したりする手法をとる、戸別駐車をやめて集合駐車にするなど、思い切った発想の採用を強く求めたいところです。また背景となる緑の山にほどよく溶け込むよう、外観デザインもある程度コントロールする必要があるでしょう。ともかく「葉山らしさ」の根源をなす「静かさ、奥ゆかしさ、気楽さ」と、そこから醸し出される「品格」を大切にしていきたいものです。

